

## リスクコミュニケーション資料作成時の留意点

リスクコミュニケーション資料には、このような内容を入れましょう。

### 会社概要

社名、代表者、所在地、創立、事業内容、従業員数等  
工場立地状況

- ・ 会社概要はできるだけ簡潔に。
- ・ 工場の立地状況 (工場団地？住宅地？周囲にどんな施設がある？敷地境界は？)は写真、図などでわかりやすく。

### 事業概要

事業内容、関連会社等  
主要製品

- ・ 主要製品の説明は、一般の聞き手にとっては一番なじみやすい話題であるため、前半で説明すると少し親しみやすい場になるのでは？
- ・ 中間製品を製造しているところは、最終製品はどのようなものであるかも説明するとわかりやすい。
- ・ 主要製品の写真と用途説明も加える。

### 環境方針

### 環境負荷

input (エネルギー、用水、物質)とoutput (排ガス、排水・廃液、廃棄物)  
LCA (ライフサイクルアセスメント)

- ・ 製造、排出過程だけではなく原料から輸送、販売、さらには製造品に至るまで、環境負荷を減らすために、どのような取組をしているか。

### 環境設備・対策課題

施設と関係法令等の説明  
廃棄物対策  
化学物質対策  
その他環境対策

- ・ どのような施設があって、どのような用途に使うのか。その施設にはどんな法令、規制がかかるのか、また、その施設に関わる苦情にはどのようなものがあるか、それに対する対策はどうしているかなど写真や図も用いて説明。
- ・ 廃棄物対策としては、まず適切に管理して処分していること。さらに発生量削減の取組など。
- ・ 化学物質対策の説明において、「この物質が排出されている」というだけでは理解はできない。

どんな物質がどんな過程(何を作る過程)でどのように排出されるかを説明。(製品の製造過程、化学物質を使用する過程、排出する過程等)

- ・ 取扱化学物質全てを説明するのではなく、特に排出量が多いもしくは毒性が強いなどの物質に的を絞り、主な物性、適用法令とその簡単な内容、人体への影響、一般的な用途、量、説明事業所での用途、量、法基準、自主基準、測定結果、問題点がある場合はその改善策。
- ・ その他環境対策として、水の再利用や省エネなど自主的取組について。
- ・ 企業としてかかえている問題点、課題について、今後の方針とともに説明。

#### 防災対策

事前対策 (設備面、社員教育、防災訓練など)

事後対策 (緊急時の連絡体制、住民への連絡体制)

- ・ 日頃からの防災対策として、ハート面での対策、社員教育、防災訓練などの実施状況
- ・ 防災が起きた場合等緊急時の消防や市町村等への連絡体制や、周辺住民への連絡体制

#### その他環境活動

社員教育

地域との係わり

- ・ 社員教育の内容・頻度について。
- ・ 日頃からの地域との係わりについて。
- ・ 住民からの相談窓口の案内など。